



町に関係する話題など広報係が取材したできごとをご紹介します。

## たくさんの支援の力で再建へ

### 四賢婦人記念館起工式

熊本地震により大きな被害を受け、事実上廃館となっていた四賢婦人記念館の起工式が、7月9日、再建先の潮井自然公園で行われました。

津森小の南側にあった旧記念館は残念ながら解体となりましたが、今回、(株)桜樹会・古川建築事務所と(株)坂澤建設が中心となって四賢婦人ゆかりの地である杉堂地区に再建されます。この近くには潮井神社と国天然記念物の地表地震断層があり、男女共同参画教育だけでなく地学・環境教育も担う拠点となることが期待されます。



起工式で祝詞を読み上げる宮司



上益城保護司会メンバーと、メッセージを受け取った向井副町長

## 明るい社会を実現するために

### 第68回「社明運動」メッセージ伝達式

7月6日、第68回社会を明るくする運動強調月間に伴い、上益城地区保護司会が役場仮設庁舎を訪れ、メッセージを伝達しました。

同団体は、犯罪や非行のない安全・安心な地域社会の実現と、犯罪や非行をしてしまった人たちの立ち直りを支える活動を行っています。

あかほりょういち  
赤星良一会長は、「上益城管内62名、益城町では13名の保護司が活動にあたっています。これからも地域の安全・安心のため頑張りたい」と話しました。

## 暮らしを支える美しい地下水を育む

### 津森地区で「冬水たんぼ」の田植え

サントリーホールディングス(株)と、九州大学、公益財団法人くまもと地下水財団が主体となって行っている地下水涵養活動の1つ「冬水たんぼ」の田植えが、6月23日に津森地区で行われました。

この取り組みは、2010年からサントリーが始め、現在では16ヘクタールで実施されています。

「冬水たんぼ」は、肥えた土を育み、雑草を抑えるなどの効果を持つ伝統的な農法です。また、水が地下に浸透し、効率的な地下水涵養としての機能も期待されます。



参加者たちに一つ一つ丁寧に植えられる苗

7月15日にひろやす荘で行われた、NPO法人「チーム安永」設立記念イベントでのそうめん流し大会。このほかに、あめ食い競争などの運動会もありました。同団体は、多世代で地域交流・活動をすることでコミュニティを深め、住みやすい、住みたいと思える地域づくりをすることを目的としています。

Pickup plus  
今月のプラス+

